

校長室だより

No. 24

平成30年10月12日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かず
加藤嘉一

進化していく学校 その3 -先生もICT機器(iPad)に挑戦-

昨日木曜日は、市内では保健体育の専門として授業を指導している竜南中学校の鈴木大先生を招き、授業研究を行いました。今年から、市教育委員会が委嘱した研究会では、研究紀要(研究概要や詳しい実践が掲載されているもの)や指導案(授業計画の細案)は紙にされず電子化され、授業の様子を記録することについて、どちらも学校に配付されたiPadでメモを



【職員室にて淳子先生がiPadの試しを】
することになりました。そこで、わたしも昨日の授業研究では挑戦してみました。わたしは、研究授業では、子供や先生の話す言葉をほぼそのまま全部ノートに書きながら、自分の思ったこともメモしていくので、相当のスピードで書き込みます。結構そのスピードで、iPadに書き込むことができるとわかりました。写真も撮れるから便利。しかし紙と違って重かった。手首も痛くなりました。慣れればいいのでしょうか。もう少し使って試してみようと思います。

大人にもたらず子供のパワー -市民体育祭に見る学区の盛り上がり-

10月7日(日)は、快晴で10月とは思えない暑さの中、市民体育祭が開催されました。台風の影響で前日まで雨が降り、「今年もか」と大変心配されましたが、素晴らしい天候で開催されました。六ツ美中部学区は、**第3ブロックで準優勝!**6年ぶりの賞状を獲得しました。夜に行われた反省会も、なごやかでとても良い雰囲気でした。わたしがこの日に感じたことは、「子供はすごい存在だ」ということです。



市民体育祭自体を見にいかれたことのない方がいると思うので、少し解説します。種目は、下のようにある7つの競技種目で競います。岡崎市は小学校区の47学区に

【10月7日(日) 市民体育祭会場にて】

分けられていて、人口の少ない順に6~7学区でブロックにまとめられ、競い合う形をとっています。本学区は、以下の表の学区が同じブロックです。

【第3ブロック】**【市民体育祭種目 小学生の成績】**

学区名	人口（人）
山中	4,643
六ツ美中部	5,357
矢作西	6,492
美合	6,506
本宿	6,570
藤川	8,164
岩津	9,636

1	中学生男子 800mリレー	
2	中学生女子 400mリレー	
3	小学生男子 400mリレー	優勝
4	小学生女子 400mリレー	優勝
5	玉入れ競技	
6	バージャンプ競技	3位
7	障害物 800mリレー	
8	年齢別混合 800mリレー	優勝

今回中部学区の盛り上がりを作ったのは、小学生です。男子リレーは、まさに学校で練習した成果が出て、接戦だったレースがバトンパスのたびにリードするものになりました。その勢いに乗り、女子もバトンパスにミスがないだけでなく、アンカーの杉浦千恵さんが2人をぐんぐん抜き、大逆転優勝です。しかもコーナーで抜いていったから、これまた観客は大興奮。今年PTA会長の秋葉さんや副会長の神尾さんは、学区の応援団長がごとく応援をリードしてください、優勝したチームのメンバーが帰ってくるたびに、万歳三唱の大歓声を作っていました。（秋葉さんは、年代別リレーのアンカーも務めました）

この好結果から、「得点が取れているのは小学生のおかげだなあ」「小学生ががんばってるのに大人が負けとっちゃいかん」という声が、次々に出っていました。その声や表情は、喜びや楽しさでいっぱいです。これは優勝という結果がもたらしたというより、子供が精いっぱい頑張る姿に対して、純粋に湧き上がってくる喜びだったと思います。みなさんの笑顔がとてもやさしかった。

この市民体育祭に参加する人は、その年の体育委員さんだったり、出場をたまたまお願いされたり、総代さんであったり。人は毎年変わるはずですが、市民体育祭の価値は、勝利のたびに万歳を三唱したり、ハイタッチして喜び合ったりし、これまで会話もそれほど盛んでなかった人たちの空気が一変し、みんな大騒ぎし仲良くなってしまうことです。今回は何より、よくあるスポーツ観戦のようではなく、子供の頑張りから純粋に多くのパワーをもらっているところがいいなあと思いました。子供の力はすごいです。やっぱり、その存在だけでみんなに力を与えています。子供たちが学区に幸せをくれました。

【おまけ】 前号の特異日 10月10日の話 つづき

本年度 10月10日岡崎市は曇りのち雨。

気象庁のデータによると過去10年間の記録では、名古屋市の記録ですが、雨は一度もなく、「晴」または「晴一時曇り」、「曇り」のいずれかでした。